

# ふかかせ

2025年（令和7年）

6月号 No.47

発行：中間市人権男女共同参画課

## 人権センターだより

いじめをなくすのは、一人ひとりの気持ち

中間東小学校6年 松下 葵さん

私が、日常を振り返ってみて人権問題だと感じたのは、「いじめ」です。いじめられて命を断ち、亡くなってしまった人をニュースなどで見るたびに、私は、ズンっと心が痛くなります。なぜ、「いじめ」は起きるのかが疑問に思いました。そこで私は、インターネットや動画などで調べてみることにしました。

いじめについて、インターネットで調べると、なぜいじめのよう  
な人権問題が起こるのかが分かってきました。私が考える原因の一つ目は、いじめられている人が目の前にいるのに、「自分には関係がない。」と思って笑っている人達や、何も行動を起こさない傍観者が多いことです。二つ目は、いじめている子が、家庭や人間関係などの日常的な不満やストレスを抱え、いじめをしようことが分かってきました。

この「いじめ」を解決するために大切なことを三つ考えました。まず、一つ目は、いじめられているのに、見て見ぬ振りをしていないこと、いじめられている子を勇気を出して助けてあげることです。

例えば、いじめの被害者は、いじめの加害者のことだけを見て、辛  
いと思ったり悲しんだりしている訳ではなく、いじめをされている  
のに、助けてくれなかったり、笑ったりすることが辛いのではない  
のでしょうか。だから、いじめをしている子以外の人が、他人事と  
思わず、一人では勇気が出ない場合も誰かと相談し合って、助けて  
あげることが大切だと強く感じます。二つ目は、いじめをしてしま  
いそうになっている子に気づき、先にその子の相談のつてあげた  
り、いじめをされている子の話を聞いて、「最近、元気ないけど大  
丈夫？」、「味方だよ。」と安心させる言葉をかけてあげることが  
いじめをなくす第一歩だと思います。いじめられている子もいじ  
めてしまう子も誰かに話せない、相談できないことがいじめにつ  
ながる大きな原因なんだと改めて感じました。三つ目は、家族や

友達が一緒にいじめについて考え、対話することでいじめに発展しないようにすることです。そして、いじめは「人を傷つけ、一生の傷にすること」、「どんな理由があっても、絶対にしてはいけない行為」だということ周りに伝え続けることだと思えます。

人権作文を書くことを通して、私はいじめが人権問題だということを知ることができました。そして、いじめの被害を受けた人の人権を守る為にたくさんの人や相談センター等の機関があることを知り、とても安心しました。これから私のできることは、周りの大切な人たちに、「いじめ」は人権問題だということを伝えていくことです。もっと知らない人権問題を学び、「誰かのことじゃない」と他人事に考えず、人権問題に向き合っていきたいと思えます。

【私たちが感じた人権 令和6年度小中学校人権作文より】

### ☆なやみごと相談☆

なやみごとや困りごとについて、

人権擁護委員(中間市在住)が無料でご相談を受けます。

秘密は厳守されますので気軽にご相談ください。

(予約不要)

・6/11(木)・7/9(木)・8/6(木)・9/10(木)

13:30~15:30



問合先) 中間市人権センター

### ◇「女性のための無料就職相談」◇

就職活動中・そろそろ働きたいと思っている女性の方を  
応援します。 ※2日前までに予約が必要です。

・6/12(木)・7/10(木)・8/14(木)・9/11(木)

10:00~12:00

予約問合先) 福岡県ママと女性の就業支援センター

093-533-6637

相談場所) 中間市人権センター



中間市人権センター(ピンクの建物が目印です!!)

住所：中間市岩瀬一丁目17-1

☎093-245-3511

## 中間市パートナーシップ宣誓制度を実施します

中間市では、あらゆる差別や人権侵害をなくし、お互いの人権を尊重し、市民一人ひとりが自分らしく生き生きと暮らすことができる社会の実現を目指し、人権啓発施策を推進しています。

その中で、性の多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず、人生を共にしたい人と安心して生活することができるための施策の一つとして、令和7年4月1日から中間市パートナーシップ宣誓制度を実施します。

### パートナーシップ宣誓制度とは

一方又は双方が、性的少数者（LGBTQ等）である2人が、互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約束し、市長に対し、2人が共同して宣誓する制度です。法で定める婚姻と同等の効果はありませんが、当事者の生き方を応援する制度です。宣誓後、要件を満たしている場合は「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付します。



パートナーシップ宣誓制度について、詳しくは 中間市男女共同参画課 人権政策係までお問い合わせください

## 第10回中間市人権フェスティバルを開催します！

テーマ 「未来へ語り継ぐ あなたとわたしの人権物語」

- ◆ 日時 2025年7月25日（金）14:00～20:00
- ◆ 場所 なかまハーモニーホール

7月は同和問題啓発強調月間です。中間市は、この強調月間にあわせて人権フェスティバルを開催します。そのなかで、大ホールで行うイベントの内容を紹介します。

### 第1部 「人権作文発表及び活動発表会」

開場 14:30 開演 15:00～17:00  
内容 ☆ 北九州高等学園の生徒による和太鼓演奏  
☆ 市内中学生・高校生による人権作文の発表  
☆ 中間南中学校生徒による語り継ぎ活動発表  
朗読劇 「沖縄戦 ガマの中の出来事」

学校で学んだ人権学習を通して、中高生が感じた想いを発表します。

また、中間南中学校生徒による発表は、様々な人権・平和学習で、人権を守り、平和を創ることの大切さを学んだ生徒たちが、心に刻んだものを「朗読劇」という形で発表します。

### 第2部 「人権講演会」

開場 17:30  
開演 18:00～20:00  
講師 坂本義喜さん  
(元熊本市食肉センター勤務) (坂本義喜さん)  
講演 「いのちと仕事」～いのちをいただく～



絵本「いのちをいただく」の原案者である坂本義喜さんは、一頭の牛との出会いにより、生命観や職業観が大きく変わったことをきっかけに、命や食の大切さを伝えています。

みなさんも坂本さんのお話を聞いて、命の大切さや仕事について、考えてみませんか？

## 人権の花運動「ひまわりの種」贈呈式



### 中間小学校3年生



4月15日、中間小学校で人権の花運動「ひまわりの種」の贈呈式がありました。

みんなで協力し、心を込めて花を育てることで、生命の大切さを学び、感謝する心を育むことを目的とした運動です。

昨年度、中間北小学校のみなさんが大切に育ててくれたひまわりから採取した種を、中間小学校のみなさんへとつなぎました。人権擁護委員さんから「生命の大切さ、人を思いやる」というお話があったように、今年も大きなひまわりになるようにやさしい心をもって育ててください。